

Infowars 報道：厚生省が Covid ワクチンによる若者の心筋炎を警告

日本の厚生省、モデルナとファイザーのワクチンによる若者の被害を認める

Jamie White

December 8, 2021

<https://www.infowars.com/posts/japan-health-ministry-warns-moderna-pfizer-covid-vaccines-causing-heart-inflammation-in-young-people/>

⇒政府の厚生審査会が、ワクチンの「深刻な副作用」を警告する否定的但し書きを、付することを勧告した。

日本の厚生省が、ファイザーやモデルナの COVID 注射に伴う、副作用の可能性として心筋炎をリストにあげた。

この政府の厚生労働福祉省は、11月4日の時点で、モデルナ・ワクチンを受けた100万人につき、心臓とその外周の炎症が、10から19歳では82人の男性に、また20歳代では49人の男性に報告されていると主張した。

ファイザーのワクチンについては、10から19歳では16人、20歳代の男性では100万人に13人だった。

この政府機関は、先週の会合で、ワクチンに添付される文書には、「深刻な副作用」の但し書き警告を張り付けることを勧告した。

https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20211204_12/

この政府の役人たちは、また、注射を受けた後28日以内に、心筋症の徴候を発症した人々に関わる事故を、詳細に報告するように、病院に対して要望する予定だと言っている。

日本はこれ以前に、ワクチンが「磁石に反応するごく小さな金属片」に汚染されていたという報告に続いて、8月に、260万回分のモデルナ・ワクチンの使用を、差し止めたことがある。

<https://www.infowars.com/posts/japan-halts-2-6m-moderna-doses-after-additional-vials-found-to-contain-foreign-substances-2-men-die/>

この汚染されたモデルナ製品を使用した結果、日本では、数人の人々が死んだにもかかわらず、日本は何日も後まで、モデルナ注射の配給を続けていた。(強調は訳者)

<https://www.infowars.com/posts/third-person-dies-in-japan-after-receiving-moderna-covid-vaccine-from-batch-recalled-over-stainless-steel-contamination/>

[訳者 Greatchain 注] ——この最後に言及されている日本人の死者は3人である。その記事の題と冒頭を翻訳する：

3人目の日本人死者：ステンレス・スチールによる汚染のため回収された、モデルナ Covid ワクチンを受けた後で死亡——RT, Sep. 7, 2021

日本の厚生省が確認：汚染されたモデルナ Covid-19 ワクチンが回収された後、そのロットの1つから2回目のワクチンを受けた男性の3人目が、その1日後に死んだ。

この男性、49歳は、8月11日に、2つ目の Covid-19 注射を受け、翌朝、死亡を宣告された、と地方メディアが厚生省を引用して伝えた。今のところ、彼の死がワクチンによるものかどうか不明である。またこの死者は、彼の突然の死に貢献したかもしれない隠れた健康上の理由を、持っていたかどうかもわからない。…

この Infowars 記事を併せ読み、写真の日の丸やマンガを見ると、日本人がワクチンに対して、ほとんど何の抵抗もしない、されるがままの犯罪大国のように、受け取られていることがわかる。これは恥ずかしい。厚生労働省は、今回やっと、ワクチンの副作用を警告したようだが、これは、比率にして、被害はわずかなものだけということだろう。

ワクチンを受けた人の身体が、磁気を帯びる話は聞いていた。これだけで大問題であり、日本全国が色めき立つと思われた。しかし日本政府（とメディア）は、それによって死者が3人も出ていたにもかかわらず、製造者から言われるままに、何ら問題なしとして、無視しつづけている。これは日本民族として、屈辱に顔から火の出るような話である。これには世界中の人々が唾然としたであろう。いわゆる Five Eyes と言われる国のように、悪の枢軸国に対する義理は、我々には全くないのだから、なおさらである。

それとも、その日のうちに死んでも、因果関係は不明だと強弁し続けますか？ 誰のために？ 数か月前、高知県で集団接種があったとき、一人の男性がその日のうちに死んだ。新聞は明らかに故意に、最小限の小さな記事を出した。加害者には気を遣い、できるかぎ

り隠ぺいするのが礼儀のようである。次に引用するアンソニー・ファウチは、わが国では指導者扱いされているが、彼がどう言っているのか知っておくべきである。

反抗者が「自発的に」ワクチンを打たなければ、政府は「不人気な行動を取らざるを得ない」

Chris Menahan | Information Liberation

December 9, 2021

<https://www.infowars.com/posts/fauci-govt-may-have-to-do-things-that-are-unpopular-if-recalcitrants-wont-voluntarily-get-vaxxed/>

9月に遡って、ホワイトハウスの医学アドバイザー主任、アンソニー・ファウチは、バイデン政権は、もしワクチンを打たないアメリカの「反抗的集団」が、どうしても服従しなければ、あらゆる者がビッグ・ファーマの実験的注射をするように、「強制する」ことになると脅迫した。<http://www.informationliberation.com/?id=62542>

「我々はかなり頑強な者たちの集団を抱えており、彼らがワクチンを受けるよう説得するが、それが無理なら強制しよう考えている」と、ファウチは言った。

ファウチは、水曜日、MSNBCとのインタビューで、同じような脅迫を発した。

「私と我々全体が望むことは、できれば人々が自発的にワクチンを打つことだが、もし彼らにその気がないというなら、時には人は、あまり人気がないことをせざるをえなくなる。しかしその方が、明らかに個人の選択を超えており、圧倒的に共通の善に向かうものだ」と、ファウチは言った。

ただ昨年、ファウチは強制的ワクチンの考えを否定し、政府は「一般民衆のどんな者にも、それを決して強制しない」と言っている。

水曜日にファウチは、CNNに対し、「完全ワクチン接種」の定義を変えて、3度（かそれ以上）の注射という意味に使い、これは、「もしでなく、いつ」の問題になったと言った。

彼はまたアメリカ人に対し、休日の集まりには、自分の家族であっても、ワクチン・パスポートを強要するように要求した。

ファウチの人気率が、定まることのないふらつきや、当たらない予言のために底をついたとき、彼は思い切って、考えられる最もクレージーな発言をし、バイデンの命令でさえ穏やかに見えるようなことを言った。

【訳者注】——彼が何を言ったか、それはどうでもよい。要するに「俺に逆らうと、あまりためにならんぞ。覚えておけ」というようなことを、言ったのであろう。これはアメリカだけでなく世界に対する宣戦布告だと知るべきである。つまり脅しではなく本気であり、見えない彼の飼い主が、認め、許すところまでは、間違いなく実行されると考えねばならない。彼の言う「ワクチン命令」は、接種の有効・無効にも、その真偽にも関係がない。政治的な権力のしるしとして、利用されているだけである。

我々の政府が、老若男女すべてに、ずらりと並んで受けさせるのは、医療的なワクチンでなく、ファウチという帝王に、忠誠の誓いをさせるためである。それが、いよいよ3回目には、何らかの決定的な、命にかかわるようなものになるかもしれない。切支丹の踏み絵か？ それとも、我々はファウチに向ってこう言うべきか？——「私たちは奴隷として、魂をあなたにお預けします。ですから、どうか命だけは取らないでください！」